



薬局通信 第109号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規院外専用医薬品
①エブリスティドライシロップ 60mg ②セレコキシブ錠 100mg 「ファイザ」 ③オンドанセトロン注 4mg シリンジ 「マルイシ」	なし	①ロラタジンドライシロップ 1% 「NP」 ②イノラス配合経腸用液（コーヒー味） ③レキソタン錠 5 ④イグザレルトドライシロップ小児用 51.7mg・103.4mg ⑤テリルジー200 エリプタ 30 吸入用 ⑥リバクレオンカプセル 150mg
新規患者限定医薬品	販売中止などにより変更した医薬品	
①イグザレルト錠 15mg ②メマンチン塩酸塩ドライシロップ 2% 「DSEP」 ③ニトロールスプレー1.25mg ④ヴァイトラックピ内用液 20mg/mL ⑤ホスミシンS 耳科用 3%	なし	

採用薬品の処方開始は、原則として **2021年11月1日(月)** からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

① エプリステイドライシロップ 60mg 処方箋医薬品 / 劇薬

(中外製薬株式会社) 脊髄性筋萎縮症治療剤

一般名：リスジブラム

採用理由

脊髄性筋萎縮症治療薬において唯一の経口薬であるため。

効能効果

脊髄性筋萎縮症

用法用量

通常、生後 2 カ月以上 2 歳未満の患者にはリスジブラムとして、0.2mg/kg を 1 日 1 回食後に経口投与する。通常、2 歳以上の患者にはリスジブラムとして、体重 20kg 未満では 0.25mg/kg を、体重 20kg 以上では 5mg を 1 日 1 回食後に経口投与する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：974,463.⁷⁰円/瓶

② セレコキシブ錠 100mg「ファイバー」 処方箋医薬品 / 劇薬

(ヴィアトリス株式会社) 非ステロイド性消炎・鎮痛剤 (COX-2 選択的阻害剤)

一般名：セレコキシブ

採用理由

顎変形症の外科的矯正治療後と抜歯後の処方するため。

効能効果

下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎

手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛

用法用量

関節リウマチ

通常、成人にはセレコキシブとして1回 100～200mg を1日2回、朝・夕食後に経口投与する。

変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎

通常、成人にはセレコキシブとして1回 100mg を1日2回、朝・夕食後に経口投与する。

手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛

通常、成人にはセレコキシブとして初回のみ 400mg、2回目以降は1回 200mg として1日2回経口投与する。なお、投与間隔は6時間以上あけること。

頓用の場合は、初回のみ 400mg、必要に応じて以降は 200mg を6時間以上あけて経口投与する。

ただし、1日2回までとする。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：16.³⁰円/錠

③ オンダンセトロン注 4mg シリンジ「マルイシ」 処方箋医薬品 / 劇薬

(丸石製薬株式会社) 5-HT₃受容体拮抗型制吐剤

一般名：オンダンセトロン塩酸塩水和物

採用理由

小児における術後の消化器症状（悪心、嘔吐）に対する公知申請に係る事前評価が終了し、保険適応となったため。

効能効果

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）

(公知申請に係る事前評価が終了し、保険適応となった効能効果)

術後の消化器症状（悪心、嘔吐）

用法用量

成人

通常、成人にはオンダンセトロンとして1回4mg、1日1回緩徐に静脈内投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。また、効果不十分な場合には、同用量を追加投与できる。

小児

通常、小児にはオンダンセトロンとして1回2.5mg/m²、1日1回緩徐に静脈内投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。また、効果不十分な場合には、同用量を追加投与できる。

(公知申請に係る事前評価が終了し、保険適応となった用法用量)

成人

通常、成人にはオンダンセトロンとして1回4mgを緩徐に静脈内投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

小児

通常、小児にはオンダンセトロンとして1回0.05~0.1mg/kg（最大4mg）を緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：3,524円/筒